

令和7年度 教科・科目年間指導計画

教科名	科目名	担当者名	必修・選択別	単位数	対象年次
保健体育	体育（1年）	草野	必履修	2単位	1年次
教科書・補助教材等(出版社)			添削指導	面接指導	視聴報告書
現代高等保健体育（大修館書店） インターネット講座視聴			2回	4時間	1回
科目の指導目標					
教科書内容の基礎的な知識を身に付けるとともに、健康・安全について関心をもち、日常生活に活かすことができるようにする。					
区分	回数	指導内容			
添削指導	第1回	レポート1（p136～144）			
	第2回	レポート2（p146～45）			
面接指導	1時間目	（教室での授業）以下の教科書内容のポイントについて解説する。			
		1 単元「01スポーツの始まりと変遷」「特設①民族スポーツ」			
		「02文化としてのスポーツ」「特設②日本生まれのスポーツ」			
		「03オリンピックとパラリンピックの意義」「特設④オリンピックの課題」			
		「特設⑤パラリンピックの課題」「04スポーツが経済に及ぼす影響」			
		「05スポーツの高潔さとドーピング」			
	2時間目	（体育館でバドミントン ※男女共習）ウォームアップ→バドミントンラケットの握り、振り方→バドミントンのコートづくり（ネット張り）→2人組での練習（ラリー）※ラリーや打ち始めが難しい生徒は個別に指導			
	3時間目	引き続き2人組での練習（ラリー）→さまざまな打ち方（シャトルの軌道…クリアー、ドロップ、ドライブ、ヘアピン、スマッシュなど）を説明し、生徒も打ってみる→フットワークを説明し、生徒もやってみる→サービスの練習とバドミントンルールの説明			
	4時間目	ダブルスでのゲーム ※人数しだいでコート数を決める →片付け→クールダウン（ストレッチ）			
	試験	出題範囲	主として添削指導内容、報告課題、面接指導内容から出題		
評価	評価の観点	観点1（テスト50:レポート20）・観点2（テスト80:レポート20）・観点3（試験40:レポート30:スクーリング30）			
	評価の方法	テスト・レポート・スクーリングそれぞれに評価の基準を定める。			

令和7年度 教科・科目年間指導計画

教科名	科目名	担当者名	必修・選択別	単位数	対象年次
保健体育	体育（2年）	草野	必履修	3単位	2年次
教科書・補助教材等(出版社)			添削指導	面接指導	視聴報告書
現代高等保健体育（大修館書店） インターネット講座視聴			3回	6時間	1回
科目の指導目標					
教科書内容の基礎的な知識を身に付けるとともに、健康・安全について関心をもち、日常生活に活かすことができるようにする。					
区分	回数	指導内容			
添削指導	第1回	レポート1（p158～166）			
	第2回	レポート2（p168～174）			
	第3回	レポート3（p175～180）			
面接指導	1時間目	（教室での授業）以下の教科書内容のポイントについて解説する。			
		2単元「O1スポーツにおける技能と体力」「O3技能の上達過程と練習」「O4効果的な動きのメカニズム」「O5体カトレーニング」			
	2時間目	（体育館でバスケットボール ※男女共習）ウォームアップ→部分練習（パス、ドリブル）			
	3時間目	部分練習（シュート練習） ※ルールの確認			
	4時間目	ゲーム ※人数により、チーム数を決める→クールダウン（ストレッチ）→片付け→終了			
	5時間目	（体育館で体づくり運動～体ほぐしの運動・実生活に生かす運動の計画～）			
		☆体力（行動力）の構成要素（筋力・パワー・持久力・調整力・柔軟性）の要素が入っているさまざまな運動を行いながら、体力づくりや健康づくりの知識ややり方を指導する。			
	6時間目	5時間目の続き → クールダウン（ストレッチ） → 片付け → 終了			
試験	出題範囲	主として添削指導内容、報告課題、面接指導内容から出題			
評価	評価の観点	観点1（テスト50:レポート20）・観点2（テスト80:レポート20）・観点3（試験40:レポート30:スクーリング30）			
	評価の方法	テスト・レポート・スクーリングそれぞれに評価の基準を定める。			

令和7年度 教科・科目年間指導計画

教科名	科目名	担当者名	必修・選択別	単位数	対象年次
保健体育	体育（3年）	草野	必履修	2単位	3年次
教科書・補助教材等(出版社)			添削指導	面接指導	視聴報告書
現代高等保健体育（大修館書店） インターネット講座視聴			2回	4時間	1回
科目の指導目標					
教科書内容の基礎的な知識を身に付けるとともに、健康・安全について関心をもち、日常生活に活かすことができるようにする。					
区分	回数	指導内容			
添削指導	第1回	レポート1（p182～190）			
	第2回	レポート2（p190～195）			
面接指導	1時間目	（教室での授業）以下の教科書内容のポイントについて解説する。			
		3単元「O1生涯スポーツの見方・考え方」「O2ライフスタイルに応じたスポーツ」「O3スポーツを推進する取り組み」			
		「O4豊かなスポーツライフの創造」			
	2時間目	（体育館でバレーボール ※男女共習）ウォームアップ→パス練習（オーバーハンドパス・アンダーハンドパス）※人数により2～3人組 →コート			
		づくり（ネット張り）			
	3時間目	サーブ練習・サーブレシーブ練習 → スパイク練習			
		→ バレーボールのルール確認			
	4時間目	ゲーム ※1,人数によりチーム数を決める ※2,チームの人数は6人制だが			
		受講人数により、7人制や8人制なども可とする ※3,特別ルールを設ける			
		（特別ルール①サーブは前から打つのも可とする 特別ルール②ラリー中、ボールが1回だけ地面につくの可とする。技能の状況によっては2回			
		まで可とすることもある。） →クールダウン（ストレッチ）→片付け			
		→ 終了			
試験	出題範囲	主として添削指導内容、報告課題、面接指導内容から出題			
評価	評価の観点	観点1（テスト50:レポート20）・観点2（テスト80:レポート20）・ 観点3（試験40:レポート30:スクーリング30）			
	評価の方法	テスト・レポート・スクーリングそれぞれに評価の基準を定める。			

令和7年度 教科・科目年間指導計画

教科名	科目名	担当者名	必修・選択別	単位数	対象年次
保健体育	保健（前半）	草野	必履修	1単位	1年次
教科書・補助教材等(出版社)			添削指導	面接指導	視聴報告書
現代高等保健体育（大修館書店） インターネット講座視聴			3回	1時間	なし
科目の指導目標					
教科書内容の基礎的な知識を身に付けるとともに、健康・安全について関心をもち、日常生活に活かすことができるようにする。					
区分	回数	指導内容			
添削指導	第1回	レポート1（p6～23）			
	第2回	レポート2（p24～45）			
	第3回	レポート3（p46～74）			
面接指導	1時間目	以下の教科書内容のポイントについて解説する。			
		1 単元「03生活習慣病の予防と回復」「04がんの原因と予防」「06運動と健康」「07食事と健康」「09喫煙と健康」「10飲酒と健康」			
		※上記が終わった後、時間があれば下記内容まで行う。			
		2単元「04応急手当の意義とその基本」「05日常的な応急手当」			
		「06心肺蘇生法」			
試験	出題範囲	主として添削指導内容、報告課題、面接指導内容から出題			
評価	評価の観点	観点1（テスト80:レポート20）・観点2（テスト80:レポート20）・観点3（試験40:レポート30:スクーリング30）			
	評価の方法	テスト・レポート・スクーリングそれぞれに評価の基準を定める。			

令和7年度 教科・科目年間指導計画

教科名	科目名	担当者名	必修・選択別	単位数	対象年次
保健体育	保健（後半）	草野	必履修	1単位	2年次
教科書・補助教材等(出版社)			添削指導	面接指導	視聴報告書
現代高等保健体育（大修館書店） インターネット講座視聴			3回	1時間	なし
科目の指導目標					
教科書内容の基礎的な知識を身に付けるとともに、健康・安全について関心を持ち、日常生活に活かすことができるようにする。					
区分	回数	指導内容			
添削指導	第1回	レポート1（p76～90）			
	第2回	レポート2（p92～101）			
	第3回	レポート3（p102～127）			
面接指導	1時間目	以下の教科書内容のポイントについて解説する。			
		3単元「01ライフステージと健康」「02思春期と健康」「03性意識と性行動の選択」「04妊娠・出産と健康」「05避妊法と人工妊娠中絶」			
		※上記が終わった後、時間があれば下記内容まで行う。			
		「08働くことと健康」「09労働災害と健康」「10健康的な職業生活」			
試験	出題範囲	主として添削指導内容、報告課題、面接指導内容から出題			
評価	評価の観点	観点1（テスト80:レポート20）・観点2（テスト80:レポート20）・観点3（試験40:レポート30:スクーリング30）			
	評価の方法	テスト・レポート・スクーリングそれぞれに評価の基準を定める。			